

問1 アメリカ合衆国の工業地域が、北東部のスノーベルトから南部のサンベルトへ移行していった背景を説明した文として、適切なものを選びなさい。(2024年 新潟県公立入試 類似)

- 温暖な気候で労働環境が良く、先端技術を持つ企業や労働者が移動したため
- 冷帯気候による厳しい冬を避け、綿花栽培を中心とした農業に回帰したため
- 五大湖の資源が枯渇したため、メキシコ湾周辺の鉄鉱石を求めて移動したため
- 北緯37度以北の地域で、ICT産業(情報通信技術産業)が法律によって禁止されたため

問2 アメリカ合衆国がとうもろこしなどの農産物を大量に生産し、世界市場へ輸出できる背景には、広大な国土を活かした農業経営の特徴があります。その特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。(2023年 山口公立入試 類似)

- 広大な農地に大型機械を投入し、少ない労働力で効率的に生産を行う企業的な農業
- 限られた土地に多くの労働力を投入し、単位面積あたりの収穫量を最大化する集約的な農業
- 季節ごとに異なる作物を同じ土地で交互に栽培し、地力の消耗を抑える三圃式農業
- 森林を焼き払った後の灰を肥料として利用し、数年ごとに栽培場所を移動する移動式焼畑農業

問3 アメリカ合衆国において、メキシコや中南米諸国から移住してきた人々やその子孫を指す名称として正しいものを選びなさい。これらの人々はスペイン語を母語とし、近年ではアメリカの農業や建設現場を支える重要な労働力となっています。(2019年 佐賀公立入試 類似)

- ヒスパニック
- ネイティブアメリカン
- アングロサクソン
- イヌイト

問4 北アメリカ大陸の西経100度付近に広がるグレートプレーンズでは、年間の降水量が約500mmに満たない地域が多く、樹木が育ちにくい環境にあります。このような、短い草が広がる草原地帯が見られる気候を何といいますか。(2022年 佐賀公立入試 類似)

- ステップ気候(半乾燥気候)
- 熱帯雨林気候
- 地中海性気候
- 西岸海洋性気候

問5 アメリカ合衆国の農業就業者数は約241万人で穀物収穫量は約3億5693万トン、対する日本の農業就業者数は約125万人で穀物収穫量は約1173万トンという統計があります。このデータから算出される、農業就業者1人当たりの穀物収穫量の差と、その背景にあるアメリカの農業の特徴を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。(2021年 長野県公立入試 類似)

- 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約140トン多く、広大な農地で大型機械を利用する大規模農業が展開されている。
- 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約140トン多く、狭い土地に多くの肥料と労働力を投入する集約的な農業が展開されている。
- 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約170トン多く、適地適作の考えに基づき、特定の農産物を専門的に生産している。
- 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約1400トン多く、バイオテクノロジーを用いた品種改良により生産性を高めている。

問6 アメリカ合衆国の統計において、ハワイ州や太平洋沿岸の西部諸州で全人口に占める割合が比較的高い、日本や中国などの東アジアにルーツを持つ人々の名称として適切なものはどれですか。(2026年 沖縄公立入試 類似)

- アジア系
- ヒスパニック
- アフリカ系
- ネイティブ・アメリカン

問7 北アメリカ大陸の南部に位置し、アメリカ合衆国やカナダとともに自由貿易協定であるUSMCAを締結し、工業製品の輸出などを通じて両国と密接な経済関係を築いている国を答えなさい。(2022年 大阪公立入試 類似)

- メキシコ
- ブラジル
- アルゼンチン
- チリ

問8 主要な5か国の経済指標を比較した際、1人あたりのGNI(国民総所得)が約58,000ドルと最も高く、国民の生活水準が高い一方で、輸出総額(約145万百万ドル)よりも輸入総額(約224万百万ドル)が大幅に上回っている国名と、その貿易状況を示す語句の組み合わせとして正しいものを選びなさい。(2020年 埼玉県公立入試 類似)

- アメリカ合衆国 — 貿易赤字
- アメリカ合衆国 — 貿易黒字
- アルゼンチン — 貿易赤字
- アルゼンチン — 貿易黒字

問9 アメリカ合衆国のサンフランシスコ周辺を示した地図において、この地域の産業の特徴として述べられた文として最も適切なものはどれですか。(2025年 青森県公立入試 類似)

- ICT(情報通信技術)関連の企業や大学、研究所が高度に集中している。
- 豊富な鉄鉱石と石炭資源を背景に、古くから鉄鋼業が発達している。
- 北緯37度以南の温暖な気候を生かし、綿花の栽培が盛んに行われている。
- 自動車産業の中心地であり、多くの自動車工場が集まっている。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 温暖な気候で労働環境が良く、先端技術を持つ企業や労働者が移動したため	北緯37度を境とした南側のサンベルトは、雪の多い北東部と比較して冬の気候が穏やかであり、エアコンの普及もあって生活・労働環境が向上しました。また、税制の優遇措置や安価な土地・労働力を求めて、ICT産業や航空宇宙産業といった先端技術産業が拠点を移したことで、経済の中心地の一つとなりました。
問2	<b>答え 1</b> 広大な農地に大型機械を投入し、少ない労働力で効率的に生産を行う企業的な農業	アメリカ合衆国の農業は、各地域の気候や土壌に適した作物を栽培する「適地適作」が行われていることが大きな特徴です。特に、一戸あたりの耕地面積が非常に広く、航空機による農薬散布や大型トラクターなどの高度な機械化が進んでおり、これを「企業的な農業」と呼びます。この高い生産効率が、世界市場への大量輸出を可能にする要因となっています。
問3	<b>答え 1</b> ヒスパニック	アメリカ合衆国では、メキシコやカリブ海諸国、南米の国々といったスペイン語圏から移り住んだ移民とその子孫が急増しています。彼らは独自の文化や言語を維持しており、アメリカ社会において人口に占める割合が非常に高くなっています。先住民族であるネイティブアメリカンなどとは区別されます。
問4	<b>答え 1</b> ステップ気候（半乾燥気候）	北アメリカ大陸の中央部に位置するグレートプレーンズは、湿った空気が入りにくい地形的要因などから降水量が少なくなります。年降水量が250mmから500mm程度の地域では、樹木が育つには水分が足りないため、乾燥に強い短い草が広がる「ステップ」と呼ばれる草原が形成されます。この気候は乾燥帯の中でも「ステップ気候」に分類されます。
問5	<b>答え 1</b> 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約140トン多く、広大な農地で大型機械を利用する大規模農業が展開されている。	アメリカ合衆国の1人当たり収穫量は約148トン（35693万÷241万）、日本は約9トン（1173万÷125万）となり、その差は約139トン（約140トン）に達します。アメリカでは広大な国土を活かし、農業就業者1人が担当する耕地面積が非常に大きい大規模農業が行われています。大型機械を導入して省力化を図っているため、労働者1人当たりの生産性が極めて高いのが特徴です。
問6	<b>答え 1</b> アジア系	アジア系の人々は、地理的にアジアに近い太平洋側の地域やハワイ州に多く分布しています。19世紀後半以降の移民や、近年の経済・技術交流に伴う移住などによって、西部を中心にその存在感が高まっています。
問7	<b>答え 1</b> メキシコ	北米自由貿易協定（NAFTA）を引き継ぐ形で発効したUSMCAは、アメリカ、カナダ、メキシコの3か国による協定です。メキシコは北アメリカの南端に位置し、アメリカとの国境付近に多くの工場が進出するなど、地理的な近さを活かした貿易が盛んに行われています。選択肢にあるブラジルやアルゼンチンは南アメリカ大陸に位置する国であるため、USMCAの加盟国ではありません。
問8	<b>答え 1</b> アメリカ合衆国 — 貿易赤字	アメリカ合衆国は、高度な産業発展により1人あたりのGNIが非常に高い水準にあります。旺盛な国内消費を背景に製品の輸入額が輸出額を大きく上回る状態が続いています。このように、輸入額が輸出額を上回る状態を「貿易赤字（輸入超過）」と呼び、世界最大の経済規模を持ちながら巨額の赤字を抱えているのが同国の大きな特徴です。
問9	<b>答え 1</b> ICT（情報通信技術）関連の企業や大学、研究所が高度に集中している。	サンフランシスコ郊外のサンノゼ周辺はシリコンバレーと呼ばれ、先端技術産業の一大拠点となっています。鉄鋼業や自動車産業は五大湖周辺（デトロイトやピッツバーグなど）、綿花栽培はかつての南部（サンベルトの一部）の特徴に該当します。